



持続可能な 未来を拓く 工業炉業界

一般社団法人日本工業炉協会では、8つのゴールを重点目標と定め、それぞれの優先課題に取り組んでおります。令和4年度の現在までの重点目標、優先課題の取り組み状況は以下の通りです。



すべての人に健康と福祉を

■労働安全衛生への取り組み

有害化学物質のマネジメント、削減への取り組みとして、令和3年度は、有害化学物質管理に関する勉強会を実施し情報を発信しました。令和4年度は、「工業加熱」に化学物質管理に関する記事を掲載して情報発信しています。



質の高い教育をみんなに

■業界の人材の知識、技能のレベルアップ

昨年度新たに開講した誘導加熱専門講座の第2回を7月に開催しました。工場見学も実施したことで受講者の理解を更に深めることができました。誘導加熱専門講座については、今年度は3回開催を予定しています。また、工業炉専門基礎講座については、例年通り9月に開催します。



ジェンダー平等を実現しよう

■ダイバーシティ推進への取り組み

サーモテック2022の会場で女性活躍推進イベント「ブースめぐりツアー&名刺交換会」を開催しました。活発なコミュニケーションの機会となり今後も継続的に取り組む予定です。また、会員企業における女性活躍の取り組み事例について随時「工業加熱」でご紹介します。



エネルギーをみんなにそしてクリーンに

■省エネルギーへの着実な取り組み

サーモテック2022において出展各社より省エネルギーについて多くの情報発信がなされました。省エネルギー設備の投資促進については、引き続き省エネ補助金の活用推進を通じて高効率型(低炭素)工業炉の普及に取り組めます。



働きがいも経済成長も

■働き方改革への取り組み

令和4年度は引き続き高齢者雇用の推進に取り組むとともに総務委員会等の活動を通じて働き方改革全般(ワークライフバランス等)の参考事例を収集しており、今後情報発信していきます。



産業と技術革新の基盤をつくろう

■工業加熱プロセスにおけるCO₂削減(技術革新)への取り組み

サーモテック2022では、出展各社の展示やプレゼンテーションでカーボンニュートラルに向けた新技術等の発表がなされました。また、アカデミックコーナーでの各大学研究室から新エネルギー、蓄熱、熱処理等の新技術の発表がなされました。新技術等については「工業加熱」に順次掲載し情報発信していきます。



つくる責任 つかう責任

■工業炉標準化への取り組み

当協会は、ISO/TC244の国際幹事として工業炉関連の国際標準(ISO)の発行に貢献しています。令和4年度は、水素の安全基準策定(JIS化)について検討しており対応する方針として取り組んでいます。



気候変動に具体的な対策を

■省エネルギーによる脱炭素への取り組み

サーモテック2022基調講演、特別講演等でカーボンニュートラルについて情報発信しました。また、7月の日経SDGsシンポジウムに当協会も協賛しました。カーボンニュートラルについては、環境負荷低減につながる活動を引き続き展開していきます。